

日時:2013年1月31日(木) 11:40~12:00 (於 東京証券取引所 兜クラブ)

Q:記者からの質問

A:当社よりの回答

Q:通期の業績予想を修正し、過去最高益(営業利益、当期純利益)を目指すとのことですが、以前の最高益はいくらだったのでしょうか。

A:営業利益・経常利益では、110億円(2009年3月期)、当期純利益では、58億円(2010年3月期)でした。

Q:今回の業績予想の修正における、セグメント別売上予想で、社会インフラセグメントを期初予想から大きく上方修正しておりますが、主な要因はなんのでしょうか。

A:消防・防災システムのデジタル化投資および携帯電話の新周波数帯に関わる基地局工事が想定より加速しているためです。

Q:キャリアネットワーク事業の売上予想値を上方修正したのは、通信量の増大に対応したネットワーク整備が好調だからですか。

A:その通りですが、それに加えて、海底ケーブル通信システムを活用した海底地震津波観測システムが売上に貢献していることがもう1つの理由です。

Q:上期決算では、企業ネットワークについては、売上予想値を下げましたが、今回、これを上方修正した理由はなんのでしょうか。

A:上期決算時(10月)では、外交問題や経済不安の影響等、世界経済の不透明感が残っており、それらの景況感悪化リスクを織り込みましたが、営業強化などの成長投資の効果が見え出していることから、少し戻したものです。

Q:NEC ネットエスアイは、利益について保守的な予想値を出してくる傾向がありますが、通期決算時に更なる利益の積上げが期待できるのでしょうか。

A:当社は、現在、成長に向けた投資を積極的に行っております。今回、将来の成長を加速させるべく、投資の上積みを考えており、修正予想値(営業利益 115億円)は保守的というわけではありません。

Q: 来期の見通しについては、現時点でどのように考えているのでしょうか。

A: 企業ネットワークについては、爆発的な成長は見込めないとしても、過去から取り組んでいる営業力強化等を成果に結びつけ、着実に成長させていきたいと思っております。社会インフラ事業では、自治体による消防・防災システムのデジタル化が来期も引続き期待できます。一方、通信事業者における設備投資は、投資内容がLTE(次世代モバイル)に切り替わっていきますが、LTE事業に関しては、投資のスピードや量を見極める必要があり、不透明なところがあります。

今後の見通しについては、現在、中期経営計画も検討しており、まとめ次第、ご説明したいと考えております。

Q: 配当について、今期の利益がさらに積上がれば、増配の可能性もあるのでしょうか。

A: 現時点で配当性向を基準にした配当方針はございません。従って、利益額に応じて、配当を自動的に増やすということはありませんが、収益力を強化することで、株主の皆様への還元を強化できるように努めて参ります。

以 上